

各役員・地区連盟会長 様

一般財団法人 千葉県剣道連盟
会 長 川 畑 富 保

第66回千葉県剣道選手権大会の開催について
(第66回全日本剣道選手権大会千葉県予選会)

みだしの大会を、下記により開催致します。地区連盟にあたっては会員に周知せられ、多数参加されるようお願い申し上げます。

記

1 期 日

平成30年9月1日(土) 午前9:00 受 付
9:30 開 始 (昨年同様9時30分開会)

2 場 所

千葉県武道館 千葉市稲毛区天台町323 TEL 043-290-8501

3 参加資格

- (1) 本連盟の会員であること。
(平成30年4月30日以前から引き続き本連盟の登録会員であること)
- (2) 年齢満20歳以上とし、段位の制限はしない。(平成10年11月2日以前誕生者)
- (3) 剣道の技術が優秀で、所属連盟会長より推薦された者。

4 申込方法

- (1) 申込期日 平成30年8月10日(金) 必着のこと。
(組み合わせがありますので期日を厳守して下さい)
※「参加者なし」の場合もご回答下さい。(FAXもしくはメール)
- (2) 申込先 〒274-0825 船橋市前原西6-5-1-303 習志野市剣道連盟事務局
- (3) 申込様式 別紙申込書により一括申込みのこと。 返 則 明 宛 090-8107-1335
- (4) 参加料 参加料として一人1,000円を地区で一括して申込時に納入のこと。

5 組合せ・抽選

大会役員により抽選を行い決定する。

6 試合方法

トーナメント方式とし、第1位を選手権覇者とする。
(3位2名が代表決定をし、上位3名が本県代表選手として全日本選手権大会に出場する)

7 表 彰

優勝、準優勝、3位(2名)を表彰する。

8 その他

- (1) 竹刀検査・計量を行います。8時40分～9時20分までに検印を受けて下さい。検印のない竹刀の使用は、失格となります。
※ 本大会より添付資料に明記されている通り、計量・検査を行いますので必ずご参照頂き、参加者への周知もお願いします。
- (2) 大会出場者は、全員が閉会式に参加するように心がけることを各地区連盟で指導の上出場推薦をするようにして下さい。

12. 剣道用具の取り扱いについて

本大会における、剣道用具の取り扱いについては、安全性・公平性の観点から以下の通りとする。

- ~~(1) 選手は、大会で使用する剣道用具について、「剣道用具確認証」を提出すること。~~
- (2) 竹刀については次の事項を遵守すること。また大会当日に、計量・検査を必ず受けること。
 - 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値及び先端より6.5cmのちくとう部対角直径値）は、表1、表2及び図の通りとする。
 - ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更をしたものの使用は認めない。
- (3) 小手については次の事項を遵守すること。
 - 小手は、こぶしと前腕（肘関節から手首関節の尺骨側（最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ふとん部は打突の衝撃緩衝能力がある。
 - 小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ふとん最長部との長さの差が2.5cm以内である。
- (4) 面については次の事項を遵守すること。
 - 面ふとん部は安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
- (5) 剣道着については次の事項を遵守すること。
 - 剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保すること。（構えたときに肘関節が隠れること）

表1 竹刀の長さ、重さ、太さ

長さ (全長)	重さ	太さ	
		先端部最少直径	ちくとう最少直径
120センチメートル以下	510グラム以上	26ミリメートル以上	22ミリメートル以上

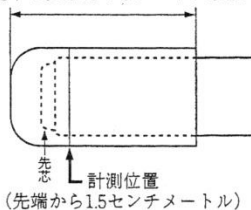
表2 二刀の場合の竹刀の長さ、重さ、太さ

	長さ (全長)	重さ	太さ	
			先端部最少直径	ちくとう最少直径
大 刀	114センチメートル以下	440グラム以上	25ミリメートル以上	21ミリメートル以上
小 刀	62センチメートル以下	280~300グラム	24ミリメートル以上	20ミリメートル以上

図. 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最少直径値の計測方法>

先革の長さ50ミリメートル以上



<ちくとうの最少直径値の計測方法>

